

IAUD Newsletter vol.6 第 20 号 (2014 年 3 月下旬号) 目次

1. 「2013 年度 IAUD 成果報告会&第 4 回定例セミナー」開催速報・・・1
2. IAUD 4 月の行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

今年度の振り返りと 2014 年度の活動に向けて

特集：「2013 年度 IAUD 成果報告会&第 4 回定例セミナー」開催速報



大盛況で終了した「2013 年度 IAUD 成果報告会&第 4 回定例セミナー」

2013 年度の各委員会及び研究部会活動の締めくくりである「2013 年度 IAUD 成果報告会」と、省庁関係者を講師に UD に関する政策等についてお話いただく「第 4 回定例セミナー」が 3 月 17 日 (月)、NEC 本社 B1F 講堂 (東京都港区) で同時開催されました。

当日は IAUD 総裁の瑤子女王殿下にご臨席いただく中、会員やメディア関係者など 214 人が参加し大盛況のうちに終了しました。

今回の定例セミナーは、平田 竹男氏 (内閣官房参与／内閣官房 2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室 室長) に、「2020 年の東京オリパラに向けて」と題しご講演いただきました。

その後の成果報告会では、各委員会と研究部会による主な活動の報告や、今秋に実施予定の国際会議及び「IAUD アワード 2014」のご案内がありました。

また、同日午前中には「第 5 回 UD 検定・初級講習会&検定試験」も実施しました。

今年度最後の Newsletter は、「2013 年度 IAUD 成果報告会&第 4 回定例セミナー」の開催速報として写真を中心にお伝えします。



今回より視覚障害者の受験にも対応

■第5回 UD 検定・初級講習会&検定試験 実施

IAUD が UD の更なる普及と実現をめざす活動の一環として 2012 年よりスタートした UD 検定の 5 回目が 3 月 17 日（月）午前 9 時より、NEC 本社 B1F 多目的ホールで実施され、幅広い年代や職業の方々 66 名が受験しました。

今回も 2 時間の講習会と、理解度を確認する 1 時間の検定試験の二部構成で行いました。

また、今回より初めて視覚障害者の方に対応した試験を実施しました。

第一部の講習会では、静岡文化芸術大学の古瀬敏教授と東洋大学の川内 美彦教授、京都工芸繊維大学の久保 雅義教授の 3 名にご講演いただき、UD に関する基礎知識を学んでいただきました。会場には情報保障として、手話通訳とパソコン要約筆記を用意しました。

休憩後の第二部では、理解度テストという形で 50 問のマークシート方式の検定試験を 1 時間実施しました。



第 5 回 UD 検定・初級講習会の様子

総裁の瑤子女王殿下がご臨席

■「2013 年度 IAUD 成果報告会&第 4 回定例セミナー」

つづいて午後 1 時半より、「2013 年度 IAUD 成果報告会&第 4 回定例セミナー」が開会しました。

会場には IAUD 総裁の瑤子女王殿下にご臨席いただき、定例セミナーと成果報告会をご高覧いただきました。



ご聴講なさる瑤子女王殿下（写真中央）

まずは司会の北村 和明 情報交流センター所長より、会場内で展開されている情報保障の紹介がありました。

今回は日本語手話通訳を特定非営利活動法人の江戸川手話通訳者協会様に、音声を瞬時に入力し会場正面のスクリーンに表示するパソコン文字通訳はユビキタス様にご協力いただきました。

■開会の辞：運営委員会委員長 大島 誠 理事

大島委員長は、「本日の成果報告会では、各委員会や研究部会の日頃の活動を中心としたご報告とともに、IAUD の来年度の活動に向けた思いを会員の皆様にお伝えし、共有できれば」と述べました。



共にユニヴァーサル、インクルーシブな社会の実現へ

■第4回定例セミナー「2020年東京オリパラに向けて」:

平田 竹男氏 (内閣官房参与/内閣官房 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室 室長)

平田氏には、2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会について、開催概要や開催決定後の政府の取り組み、また2020年東京大会を成功に導くための課題などについて、具体的にお話しいただきました。

最後には、「本日お集まりのUDの各リーダーとして活躍される方々には、2020年に向けた我々の努力に参画していただき、一緒にユニヴァーサル、インクルーシブな社会になることを祈念します」と述べられました。

これまで3回開催された定例セミナーと同様、会場は満席となり、会員の関心の高さが伺えました。

※「定例セミナー」の講演概要は次号のNewsletterに掲載予定です。



2014年の国際UD会議の開催告知も

■2013年度IAUD成果報告会

つづいて、2013年度の各委員会及び研究部会の活動成果を報告する「2013年度IAUD成果報告会」が行われました。

2013年に実施された重要な取り組みが報告されたほか、今秋開催される国際UD会議や「IAUDアワード2014」のご案内も紹介されました。

※成果報告会の詳細なレポートは、追ってWebサイトに掲載いたします。



熱心に報告に聴き入る参加者



■「第5回国際UD会議2014」について:

UD2014実行委員会 加藤 公敬 委員長

加藤委員長より、11月11日(火)から13日(木)に東京国際交流館で開催予定の「第5回国際UD会議2014」に関して、テーマ「UDのグローバル展開～東京2020オリンピック・パラリンピックへ向けて～」の説明や企画構成、主要イベントの紹介など、開催概要の報告がありました。

■ワークショップ委員会の活動報告: 藤木 武史 委員長

藤木委員長より、2013年8月に実施した特別ワークショップ「48時間デザインマラソン in 神戸」について、開催報告と参加した5チームの具体的な発表内容が紹介されました。



■IAUD アワード 2014 について： 協同事業検討委員会 川原啓嗣 委員長

川原委員長から、「IAUD アワード 2014」の実施要領について、スケジュールや賞の構成などが紹介されました。

※「IAUD アワード 2014」の詳細や応募要項は追って Web に掲載いたします。



■検定委員会の活動報告：奥田高子 副委員長

奥田副委員長から、UD 検定の目的や特長、これまで 5 回実施した初級検定の紹介、さらには今秋に実施予定の中級検定についてご案内がありました。

■研究部会から各 PJ/WG の活動報告 概要説明：研究部会 穂本 敬子 部会長

穂本部会長より、基本テーマ「設立 10 周年の節目に、ユーザー（生活者）に繋がる活動の基本に立ち返り、活動を展開する」と、2013 年度の研究部会の 4 つ方針について紹介がありました。

その後、6 つのプロジェクトと 2 つのワーキンググループの活動報告がありました。



■住空間 PJ：小泉 しをり 主査

活動テーマ「UD プラス」コンセプトの説明や、毎年継続して行っている「UD プラス」視点での先進事例視察について、「コドモ里山ラボ視察」「三鷹天命反転住宅 視察&ワークショップ」の実施報告がありました。

■移動空間 PJ：横川 浩大 主査

活動テーマ「誰もが行きたいところへ、安全に、快適に移動できること」の説明や、これまで取り組んできた移動情報の調査手法の概要、移動情報 UD 調査シートの評価版アプリの紹介がありました。



■労働環境 PJ : 伊藤 ひとみ氏

活動テーマ「テレワークと UD」の説明や、2013 年 5 月に実施したワークショップ「もし働き方を選べるとしたら」の報告、さらに先進的なワークスタイルを実現している関連団体との情報交流会の紹介がありました。



■余暇の UDPJ : 松森 果林氏

活動テーマ「テレビ CM にも字幕を」に関して、これまでの活動経緯の説明や、2013 年 5 月に実施した CM 字幕勉強会「CM 字幕に関する最新動向」の報告と、当日使用した資料やアンケートをまとめて作成した報告書の紹介がありました。

さらに、CM 字幕に関する情報を発信するために Facebook で開設した「CM 字幕応援団」の説明がありました。

■衣の UDPJ : 佃 由紀子 主査

2012 年の国際 UD 会議で発表した災害時に役立つ UD ジャケットの説明と外部機関への貸出事例を紹介したほか、衣の UD パンフレット「衣着る」の配布活動や今年度に作成した英訳 2 カ国語版の紹介、2014 年 3 月に開催したワークショップ「日常の衣服の UD を考える part1」の報告がありました。



■メディアの UDPJ : 田渕 健一 副主査

今年度からの新テーマ「文字／書体」について紹介の後、「UD 書体」の説明やこれまで 3 回実施した書体に関するステークホルダーへのヒアリング要旨の報告とヒアリングによる気づきの紹介がありました。

■標準化研究 WG&手話用語 SWG : 野中 博之 主査

2013 年 11 月に実施した東日本大震災 被災地 UD 実態調査の報告と、より使いやすいツールとするため実施した「IAUD・UD マトリックス 使用実態アンケート」の結果が紹介されました。

さらに、2012 年度より新たに発足した「手話用語サブワーキンググループ」の活動として、勉強会や講演会の実施報告がありました。



■閉会の辞：運営委員会副委員長 藤木 武史 理事

最後に閉会の辞で、すべてのプログラムが終了しました。藤木副委員長は、「平田様の講演にありました『オリンピック・パラリンピックは世界中の方が豊かで安全で幸せになるための非常に大きなステージ』という話は、IAUD でも大きなキーワード。そのステージをつくるためには、皆さまと目的意識を持ち、プロセスをきちんと踏まえて、進んでいく」と締めくくりました。



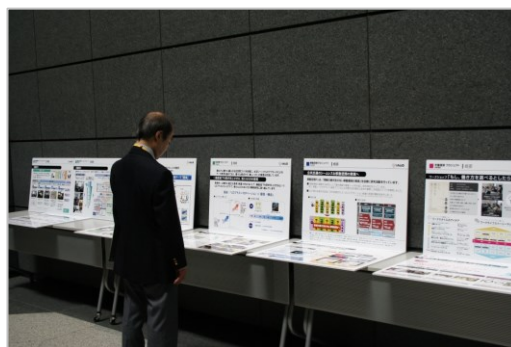
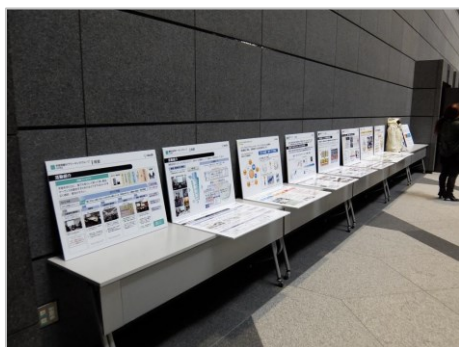
■交流会



歓談する交流会参加者

すべてのプログラム終了後、NEC 芝倶楽部にて交流会が行われ、会員間での親交を深めました。

■各委員会／研究部会のパネル展示



会場入り口には、各委員会及び研究部会の活動を紹介したパネルや成果物、10年間のIAUDの主な取り組みを一覧にしたパネルなどが展示され、休憩時には参加者が熱心に鑑賞していました。

※「2013年度IAUD成果報告会」のレポートは追ってWebサイトに、「第4回定例セミナー」の講演概要は4月中旬発行のNewsletterに掲載いたします。

IAUD 4 月の予定

3 月 28 日現在



月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3 14:30～ メディア UDPJ @昌栄印刷	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 15:00～ 研究部会 @IAUD サロン 15:00～ 情報交流センター @岡村製作所	16	17 14:00～ 労働環境 PJ @IAUD サロン	18 14:00～ 運営委員会 実行委員会 @IAUD サロン	19	20
21 13:00～ 標準化研究 WG @IAUD サロン	22 13:30～ 余暇の UDPJ @IAUD サロン	23 13:30～ 移動空間 PJ @IAUD サロン	24	25	26	27
28	29 昭和の日	30				

Newsletter では、誌面を会員の皆さまの UD に関わる情報交換の場と位置づけています。ぜひ、会員企業の UD 商品開発事例や PJ/WG の活動成果事例等の情報、国内外の UD 関連イベント、シンポジウム等の開催情報をお寄せ下さい。

次号は 2014 年 4 月中旬発行予定

特集：「2013 年度 IAUD 成果報告会 & 第 4 回定例セミナー」概要報告

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター（IAUD サロン）：

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話：03-5541-5846 FAX：03-5541-5847 e-mail：salon@iaud.net